

米兵が中学生暴行

沖縄署が容疑で逮捕

本島中部の女子中学生(一四)を乗用車内で暴行したとして、沖縄署は十一日午前、在沖米海兵隊キャンプ・コートニー所属の二等車曹タイロン・ハドナット容疑者(三八)と北中城村島袋(三)を強姦の容疑で逮捕した。ハドナット容疑者は「抱き付いたり押し倒したりしたが、暴行はしていない」と容疑を否認しているという。仲井真弘多知事は同日午前、「女性の人権を蹂躪する事件で決して許すことはできない」と憤り、東門美津子沖縄市長らも事件を非難した。同日午後、上原昭知事公室長、仲村守和県教育長が在沖米国総領事館に抗議した。

仲井真知事 「人権を蹂躪」



調べでは、ハドナット容疑者は十日午後十時半ごろ、本島中部の公園前路上に止めた車の中で、少女に暴行した疑い。同署によると、ハドナット容疑者は同午後八時二十分ごろ、沖縄市のコザ・ミュージックタウン米兵による女子中学生への暴行事件を受け、コメントする仲井真知事「十一日午前11時15分ごろ、県庁

で友人二人といった少女に「送っていくよ」などと声を掛け、基地外にある同容疑者の自宅にバイクで連れて行った。少女は怖くなって逃げ出したが、ハドナット容疑者は車で追い掛けて乗せ、中部方面を連れまわした後、暴行したという。

心配した友人らが少女の携帯電話に連絡したところ、「助けて」と答えて電話が切れたため、友人らが少女の家族と一緒に警察に通報した。

少女は暴行された後、午後十一時前に解放され、公園近くでうずくまっているところを警察に保護された。

少女が男の自宅や車、人相などを覚えていたため、同署が自宅にいたハドナット容疑者に署への任意同行を求め、緊急逮捕した。